

あれば言ってください」「ボランティアを募って協力してもらおう」といって会報誌『ぜんじんきょう』や『じんゆうだより』、国会請願署名などの発送作業も手伝ってくださるので、たいへん助かっています。また同時に、事務局が会員同士のにぎやかな交流の場となって、とても良い雰囲気がうまれているのもうれしいことです。

事務局の仕事を手伝うボランティアに登録している方は現在7名おられます。登録はしていなくても連絡すれば手伝いに来てくださる方もおられます。引き続きボランティアを募集しておりますので、県内の地域を問わず、また会員、患者でなくても、「協力しよう」と思われる方は、巻末のボランティア登録書にご記入のうえ事務局まで郵送またはFAXしてください。

各患者会の役員も後継者が見つからずご苦労されています。各患者会においても会員のみなさんで支えあう形が作られることを願います。また、各患者会の実際に合致した柔軟な運営で、次第に会の足腰を強化していても良いのではないかと考えております。

最後に、腎友会に対して医療スタッフや障がい者団体のみなさんから「がんばってください」と期待の声かけられます。腎友会が社会的に果たす役割も重要です。東京理科大学薬学部の教師と学生が事務局を訪問された時、学生たちは真剣に患者である私の話をメモしていました。岩国看護学校の学校祭では若い男性が「健康診断で血糖値が高いと言われた」と言って相談に来られ、岩国市腎友会のみなさんが一生懸命お話をしておられました。今年は社会貢献活動にも一層力を入れて、腎友会の存在感を示していきたいと考えています。



三田尻病院 砂田ミヨ子さんの作品
防府市障害者ふれあい芸術展
努力賞 おめでとうございます。

訃 報

全国腎臓病協議会の池田充会長が令和7年1月5日に逝去されました。昨年の能登半島地震で富山のご自宅が被害にあわれ、また全腎協の舵取りもむずかしくなっているなかで、大任を務められました。安らかにお眠りください。ご冥福をお祈りいたします。